

イチオシ!

がっこうし えんたんとうししょ
学校支援担当司書が、みなさんにおすすめの本を選びました。しょうかい
紹介している本はすべて千代田区立図書館に所蔵しています。

『げんこつやまのたぬきさん』

ながの ひでこ/作・絵 のら書店



みなさんもよくご存じの「げんこつやまのたぬきさん」を歌が大好きな絵本作家の長野さんがアレンジしました。絵本の中でたぬきさんの次に出てくるのは、うさぎさん。おっぱいので…あれ、ダンスを始めましたよ！明るい絵は、見ていて元気が出ます。最後のページには、楽譜と手遊びの振り付けが書かれています。いっしょに歌って踊って楽しみましょう！

イチオシ!

『ねずみのいえさがし』

ヘレン・ピアス/さく まつおか きょうこ/やく 童話屋



1匹のねずみが、家を探しています。寒くもなく、暑くもなく、やかましくもなく、広すぎず、狭すぎず、もちろん危険でない家です。そんな素晴らしい家をねずみは見つけることができるのでしょうか？くるくると動きまわっているねずみの姿と、リズムカルな文章が楽しく、1984年の出版以来、長く愛され続けている写真絵本です。

イチオシ!

『うらしまたろう』

ときた しろう/再話 あきの ふく/画 福音館書店



北風が吹き荒れる日に、たろうは1匹のかめを助きました。すると、かめは美しい娘に姿を変えてお礼を言いに行きました。たろうは、娘に連れられて竜宮城へ行きますが…。有名な昔話ですが、民俗学に詳しい著者の再話と日本画家による色彩豊かな絵は、新鮮な感動を与えてくれます。浦島太郎のお話を知っている子も楽しめる絵本です。

4～5歳

『ながーいはなでなにをするの?』

さいとう まき ふくいんかんしよてん
齋藤 楓/さく 福音館書店



ぞうは長い鼻を使って、食べたり飲んだりします。赤ちゃんぞうもおかあさんの真似をしてやってみますが、なかなか難しいようですね。それでも「じょうずでしょう」と得意顔。おかあさんの優しい瞳がその様子を見つめます。赤ちゃんは見守られているからこそ、安心して様々なことに挑戦できます。柔らかいタッチの絵は、読み手を穏やかな気持ちにしてくれますよ。

さい
0～2歳

『ずいずいずっころばし』

せがわ やすお/作 ふくいんかんしよてん
せがわ やすお/作 福音館書店



「ずいずいずっころばし」は古くから伝わるわらべうた・鬼決め唄の一つです。この唄を、今にも動き出しそうな楽しく伸びやかな絵で表したこの本は、馴染み深い唄に再び力を吹き込んでくれているようです。絵をたっぴり味わった後は、親子や友だち同士で唄いながら手遊びをしてみませんか。遊び方を知らない人は、図書館に調べにきてくださいね。

さい
3～4歳

『ネズミはひとり森のなか』

もり トニー・ジョンストン/ぶん ダイアン・スタンレー/え おがわ ひとみ ひょうろんしゃ
トニー・ジョンストン/ぶん ダイアン・スタンレー/え 小川 仁央/やく 評論社



森の中の小さな家に、小さなネズミがひとりぼっちで住んでいました。はずかしがりやのネズミは、家の外へ出たことはありません。ある夜、ひとりでため息をついていると、どこからか静かな歌声が聞こえてきました。満天の星の下、雪でおおわれた寒い森の中ではじまる友情の物語。クリスマスに読んであげたいお話です。

さい
4～5歳

- 千代田区では、区立の幼稚園、こども園、保育園、児童館に図書館から司書を派遣し、読書活動の支援を行っています。
- 「おはなトレイン」のバックナンバーは、千代田区立図書館のホームページで公開しています。